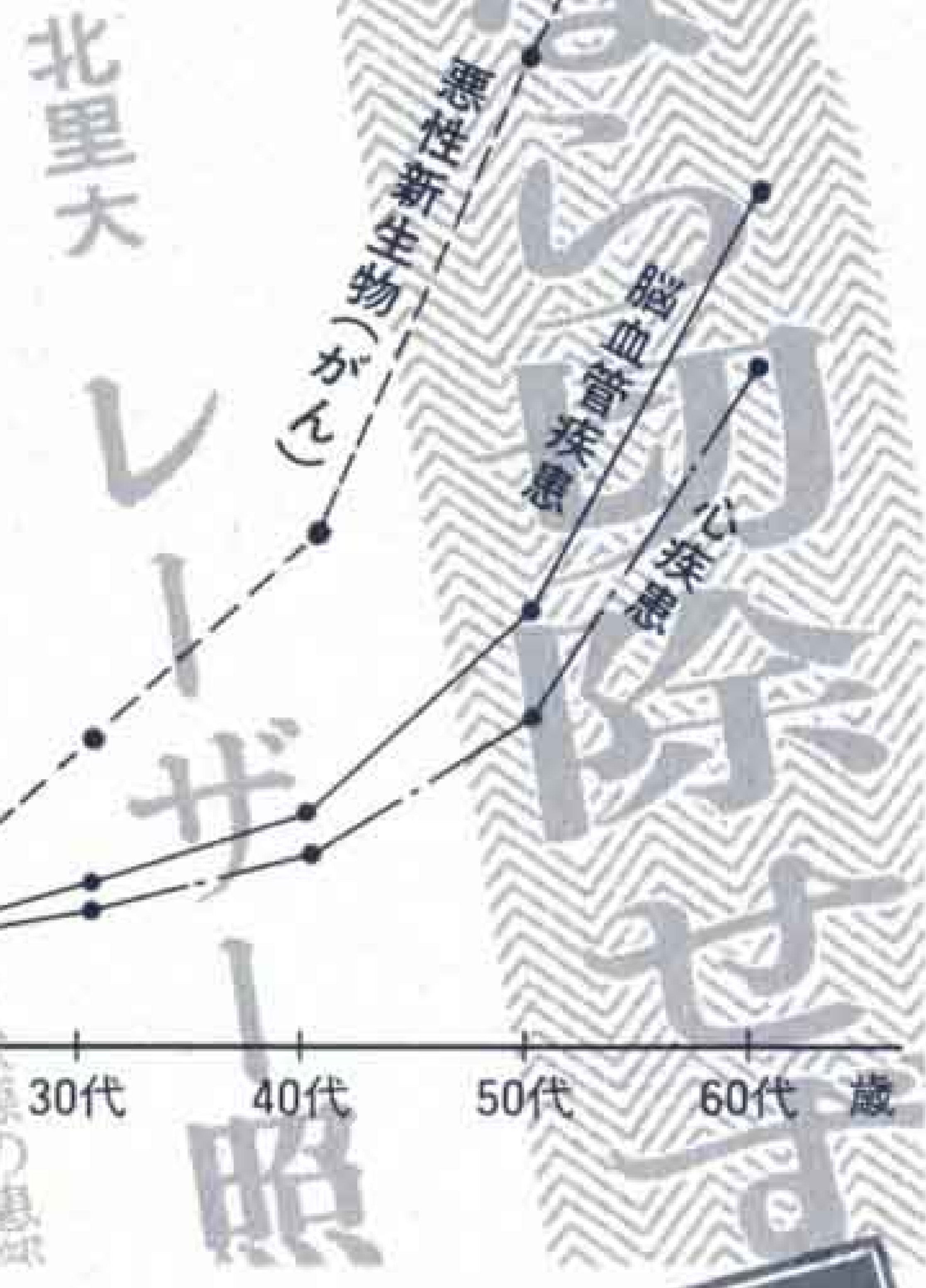




さあ！ そっと回して…

身体機能の回復などをねらいとした「機能回復訓練事業」がスタート。20名の参加者は医師、理学療法士等の熱心な指導を受けていました。なお、この訓練は3月まで12回行われる予定です。(12・13ページ カメラルポへ掲載)

全国の成人病年代別推移



【厚木】子宮の末端にできる子宮ケイ(頸)部の早期がんや前がん状態の患者は、神奈川相模原市にある北里大学医学部産婦人科教室(新)で検査も治療が、治療結果は二十日から東京で開かれる「日本産科婦科学会」で発表されている。治療結果は二十日から東京で開かれる「日本産科婦科学会」で発表されている。治療結果は二十日から東京で開かれる「日本産科婦科学会」で発表されている。



館林芳子さん(41歳)
主婦 西木の宮町

成人病検診は昨年から受けています。40歳になったのをきっかけに運動を始めました。特に、ストレスをためないように気をつけています。

渡辺貞重さん(42歳)
自営業 神戸1

体質的に腸が弱いので気をつけています。これからはなるべく検診を受けようと思っています。暴飲暴食は避けるようにしています。

40代 急激にふえる

死亡者の60%を

40歳代から急速に増加する成人病。平均寿命が伸び高齢化社会を迎えつつある我が国にとって、その対策は今や国民的課題ともいえます。この成人病について、川成島の主婦 平田和子さんに市健康課からレポートしていただきました。

がんが死因のトップ

人間の体は年をとってくるとだれでも老化現象を起こします。たとえば皮膚のつやがなくなり、しわがふえ、髪の毛がうすくなったりするのも老化現象です。

この老化現象にともなって起こる病気、これが成人病です。この成人病は40歳代から急激にふえています。

脳卒中とか狭心症や心筋梗塞などの心臓病、あるいはがん、糖尿病などがそれです。過去においては結核が死亡原因のトップを占めていましたが、いまはがん、脳卒中、心臓病が死亡順位の第1位、第2位、第3位を占めています。



レポーター 平田和子さん(46歳) 主婦 川成島

健康気になります

検診
何か恐い気も...



井出久子さん(49歳)
主婦 田端町

ふだん健康なため、特に検診などは受けていません。結果を聞くと何か恐いような気もするんです。でも、やはり受ける必要がありますね。

精神的な健康を



樽林美喜男さん(42歳)
自営業 岩本

肉体的な健康も大切だけれど、自分としては精神的な健康に重点を置きます。やはり自分の体は自分で管理することが大事ですね。

成人病 占める

市内でも昨年1年間に259人の人ががんで亡くなり、死因のトップとなっています。次いで多かったのが脳血管疾患の241人、心疾患の194人と続いています。

これらの成人病だけで実に死者数の60パーセントを占めているそうです。特に目立つ特徴としては、肝硬変の死亡率が全国と県の平均を大きく上回っていることです。

成人病の予防対策としては、早期発見、早期治療がきめ手です。

このため、市では成人病予防の検診などいろいろな施策をきめ細かく実施しています。

その主なものとして、市内を検診車が巡回する「循環器検診」及び「胃がん検診」。循環器検診では30歳以上の人が、胃がん検診では35歳以上の人が対象となります。

このほかに、30歳以上の女性を

対象とした「子宮がん検診」を市内の各産婦人科医院で、40歳以上の人を対象にした「一般診査」を市内の医療機関で実施しています。

これらの検診によって早期に発見されたため、早期治療ができ大事に至らなかった例も少なくないようです。自己診断でなく、積極的にこれらの検診を受けることが、成人病を予防する上で大切なことです。受診については、例えば誕生日とか結婚記念日など、年に1度日を決めて受けるのも1つの方法だと思います。

早期発見 早期治療を

先にも述べたように、成人病は老化と深いかわりがありますがその直接のきっかけは、日常生活の不健康に基づくところが少なくないようです。日常のちょっとした心掛け、生活態度で充分防げるとのことです。

日常生活の中で心掛けることとしては、規則正しくバランスのとれた食事をとること、ストレスをためないためにも気分転換、趣味を持ち、適度な運動をすることだそうです。

成人病年齢といわれる40歳代は家庭でも社会的にも柱となっている時期です。この年代にもし万が一のことがあった場合、家族や子供たちの生活環境を根底から変え、社会に与える影響も大きいと思います。

昔から厄年とよくいわれていますが、この年齢がちょうど肉体的に転換期を迎える時期だといえるそうです。

数年前から国や県、市町村が成人病について盛んにキャンペーンなどを行っているのを見、聞きしますが、ふだん、健康な私にとってなぜこんなにやかましくいわれるのだろうと深く考えてもみませんでした。しかし、取材をとおして改めてその恐ろしさというものを認識しました。

成人病を防ぐには、自分の健康はみずからの知恵と努力で作ることを前提に、台所をあずかる主婦である私たちの力も大きいと思います。10月10日から16日までは今年から新たに設けられた「40歳からの健康週間」です。美しく年を重ねて老いるため、特に成人病に気をつけましょう。



富士山からの良質な地下水は、私たちの生活用水であるとともに岳南地域の紙・パルプ産業を支える貴重な資源です。しかし、この地下水も無尽蔵にあるわけではありません。かつて、地下水の汲み上げ過剰は、塩水化現象という深刻な問題を引き起こしました。この限られた地下水を有効に利用することは、私たちに課せられた大きな責任です。そこで、地場産業を支える地下水についてふれてみます。

「紙のまち」として

昭和58年の工業出荷額は1兆2,905億円。本市は浜松市に次いで、県内2番目の工業生産高を誇っています。

この主な産業は、紙・パルプ産業で、全出荷額の38.7パーセントを占め、事業所数も336工場と、全体の23パーセントを占めています。

このように、本市は古くから「紙のまち」として知られ、紙・パルプ産業を中心に発展してきました。

その背景として、富士山ろくの豊富な地下水に恵まれていたことがあげられます。

通産省が昭和40年、全国に先がけて実施した「地下水利用適正化調査」では、本地区の地下水流動量は1日127万5,000立方メートルで、その安全揚水量は1日89万立方メートルと報告されています。

しかし、昭和30年代から40年代にかけての我が国の高度経済成長期により、市内の紙・パルプ産業も生産規模の拡大、事業所数の増加に伴い地下水の過剰なくみ上げが行われてきました。このため、地下水位が下がり海水が逆流するという「塩水化現象」を引き起こし、昭和35年ごろから田子の浦港を中心に、この現象

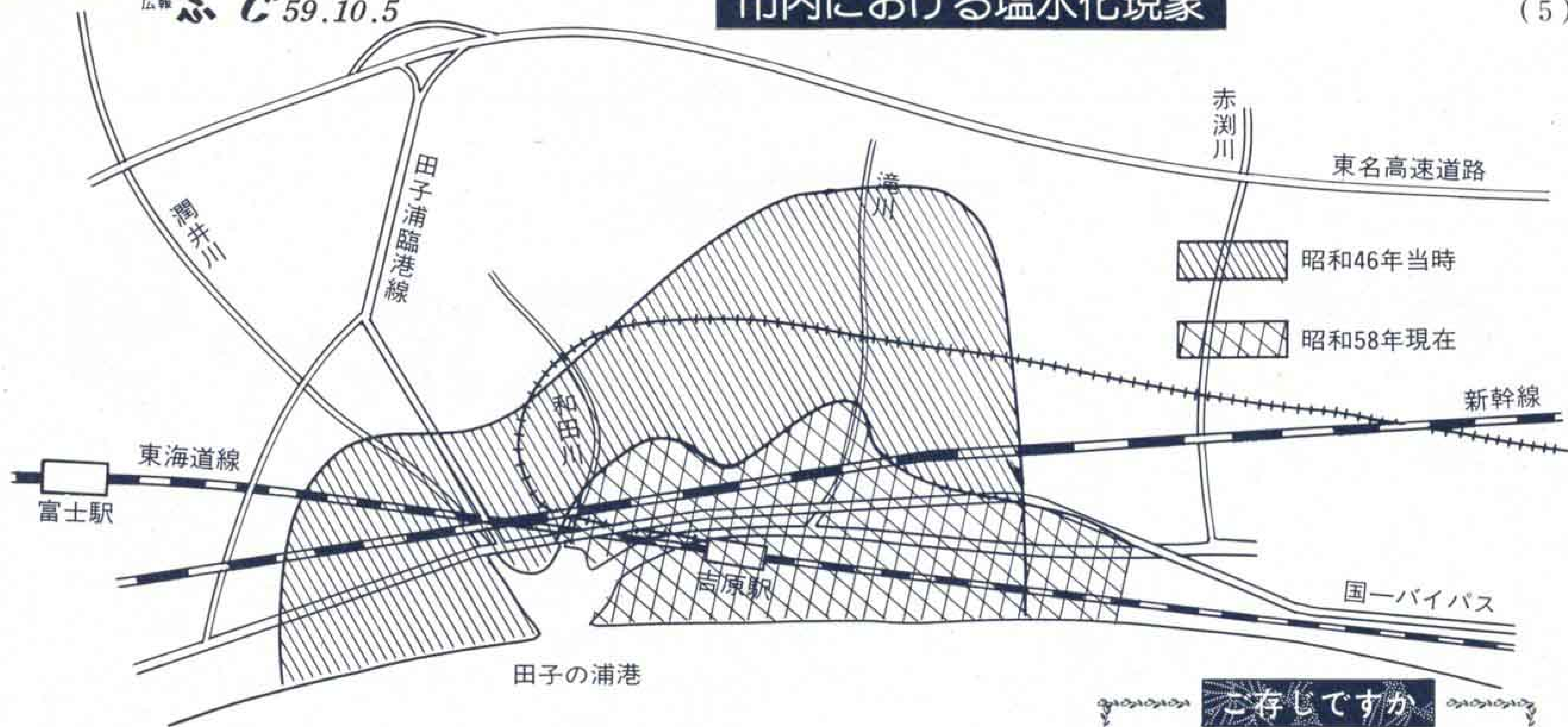
は、年々内陸部にまで侵入してきました。(次ページ図参照)

県が実施した昭和47年の立入調査では、市内の地下水採取量は1日に140万立方メートル。通産省が指定した安全揚水量を50万立方メートル以上も超過していたわけです。

地下水依存から 工業用水へ

過去、地下水だけに頼ってきた本市の紙・パルプ産業にとって、地下水の塩水化現象というのは死活問題にもなりかねないものです。

このため、昭和42年に地下水採取



量及び新設井戸の自主規制をする官民協調方式の「岳南地域地下水利用対策協議会」を発足させました。

その後、昭和46年に「静岡県地下水の採取の適正化に関する条例」が施行され、地下水採取量、新設井戸等は自主規制から法規制へ移行されることになりました。

また、工業用水を地下水から他の水源へ切り替えるため、昭和39年に芝川の中部電力発電所の放流水を取水する「県営富士川用水道」を開通。

さらに、昭和46年12月に日本軽金属発電所の放流水を取水した「県営東駿河湾工業用水道」を開通させました。このことによって、塩水化現象の拡大は一応歯どめをかけることができたわけです。

しかし、今まで拡大してきた塩水化現象の減少までには至らず、地場産業にとって依然として危険な状態

が続きました。そこで、昭和50年2月に地下水の採取量を安全揚水量にまで削減する「第1次水源転換計画」を実施。これによって、57社、約26万立方メートルが工業用水に切り替えられました。

この「第1次水源転換計画」によって、昭和47年から48年ごろをピークに横ばい状態を続けていた塩水化現象は確実に低下し、汚染範囲も減少しつつあります。(上図参照)

今後、水源転換の未実施事業所に対しても、昭和62年3月をめどに地下水採取量の転換措置が実施されるため、地下水障害は一層良好な状況へ向かうものと予想されます。

私たちの飲料水をすべて賄い、工業生産の基盤となっている地下水は共有の財産と言えます。塩水化現象という苦い経験を踏まえ、この限られた資源を守り、有効利用することが私たちの使命と言えるでしょう。

ご存じですか

東洋一の富士川水管橋



富士川の工業用水管橋は、日軽金の発電所放流水を東駿河湾工業用水道として厚原の浄水場へ送っています。その量は、1日平均44万6,000立方メートルです。

水管橋の長さは、1,040メートル。送水管の直径は2.2メートルで、この送水管が2本通っています。

水管橋の完成は昭和45年3月25日で、144億円という費用がかかりました。

工業用の水管橋としては、東洋一の規模を誇っています。



声 声 声 声 声

田宿川もようやく昔のわき水を取り戻したという感じ。子供のころはよくここで泳いだもんです。(田宿町、会社員 56歳)

地下水って、私たち共有の財産だと思うんです。大切にしたいですね。(原田、主婦 38歳)

お魚のいっぱい住めるきれいな川がいいナ。ぼくたちだって釣りなんかして遊べるもんね。(小学校3年生 男)

地下水ばかりを使っていたのでは、私たちの地場産業はダメになってしまいます。将来のためにもやはり切りかえていかなければ……。

わき水が近くにあるといいですね。地震なんかで水道の水が断水したときも安心です。(宇東川、主婦 29歳)

きれいな水って、富士市の誇りです。(女子高校生)



今月のテーマ

私とスポーツ

スポーツの秋——。野球、ジョギング、ゲートボールと団体、個人、老若男女を問わず盛んにスポーツが行われています。スポーツ好きの人、健康のために始めた人、動機はそれぞれまちまちでしょうがスポーツを通じての健康づくりや仲間との交流は楽しいものです。そこで今月は「私とスポーツ」というお便りをいただきました。

スポーツ教室に参加

土屋美恵子さん
三日市(35歳)



「一二、一二、……」と体を動かすことが、とにかく好きな私。
今までこれといったスポーツは、

やってはいませんでした。昔から運動が大好きでした。子供に手がかからなくなった4年ほど前、スポーツ教室(トリム体操)に参加。

以来、市主催などのスポーツ教室に積極的に参加しています。

現在は、軽スポーツとダンス教室に参加していますが、動き回って一汗かいた後、気分あとの爽快そうかいさは何ともいえません。

スポーツ教室への参加は、みんなで楽しくやるため、新しい仲間づくりにも最適です。

もともと健康には自信のあった私ですが、スポーツ教室へ参加し始めてからは、前にも増して体力がついたようです。でも…、ちょっと残念なことは体重が減らないことです。

今後も、ストレス解消に、健康のためにスポーツを続けるつもりです。

テーマ

■ 11月は「結婚式を考える」

秋は結婚シーズン。新しい人生の出発点となる結婚式は、本人はもちろん、親、兄弟を初め、招かれた人たちにとっても晴れやかな舞台です。

しかし、年を追うごとに派手になっている披露宴、祝儀の高騰など、問題となる面もあります。

そこで11月は「結婚式を考える」というテーマでお便りをお待ちしています。あなたの考えはいかが…。

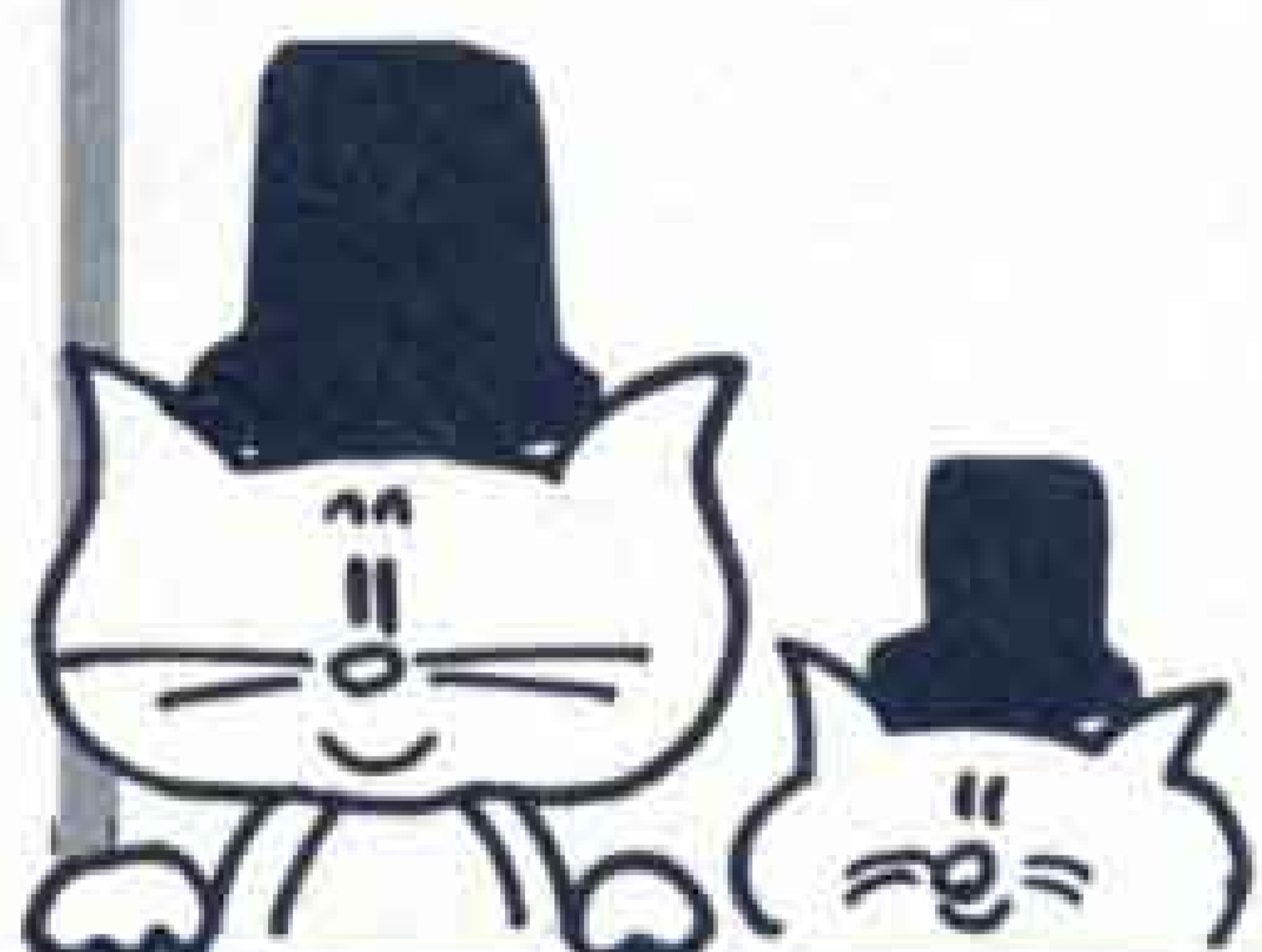
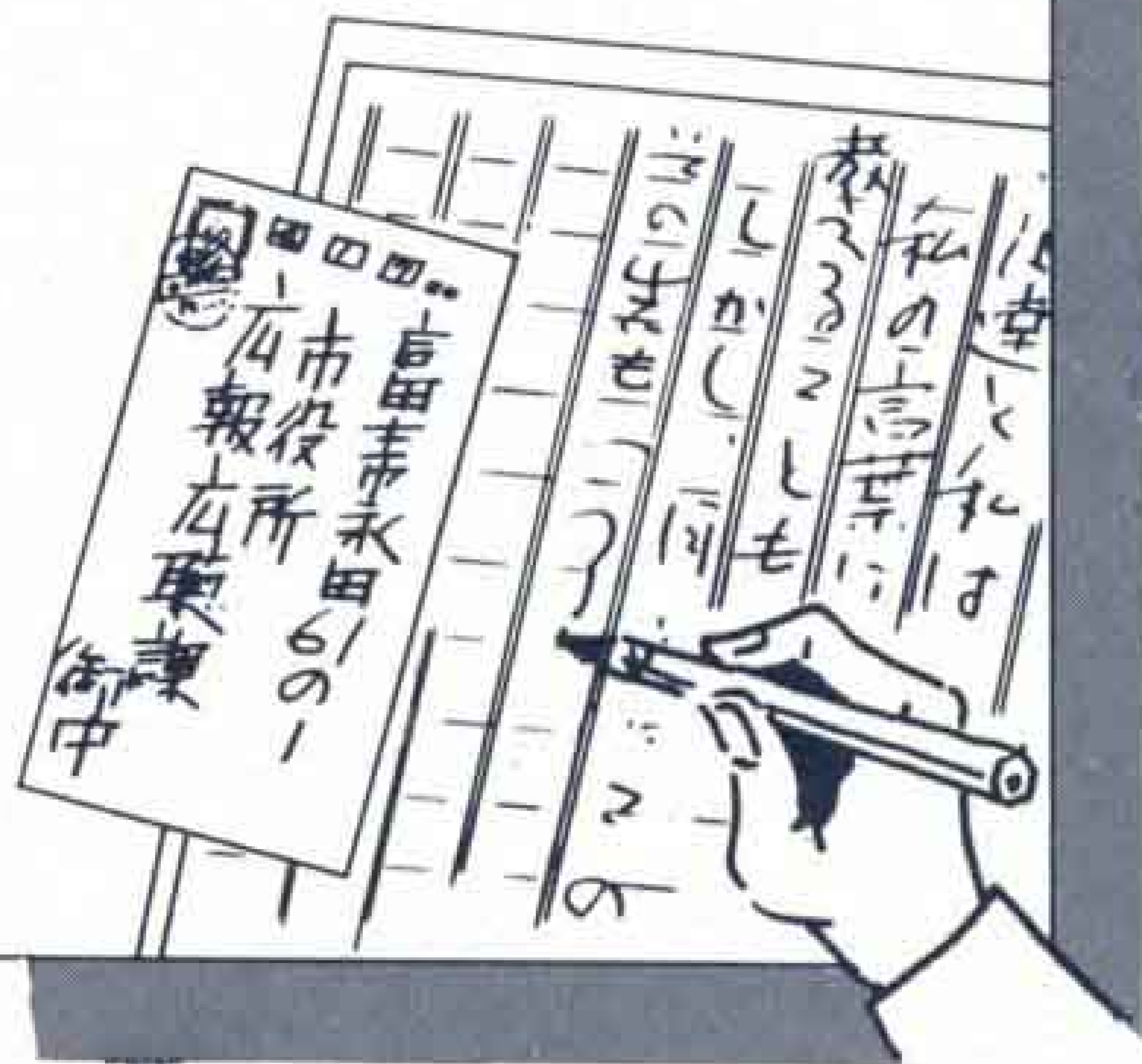
■ 12月は「ことしを振り返って」

ことしも残すところあとわずか、この一年を振り返ると、それぞれに楽しかったこと、苦しかったことを初め、いろいろな出来事があったと思います。

あなたにとって、あなたの家庭にとって、ことしはどんな年だったでしょうか。

12月は、「ことしを振り返って」というお便りをお待ちしています。

お便り コーナー



あなたのお便りを お寄せください

このコーナーは、皆さんの意見交換の場とさせていただきます。テーマに基づいた、あなたの意見や提言などを、どしどしお寄せください。

お便りをお待ちしています。

◇応募される人は 原稿用紙へ300字程度にお書きください。趣旨を変えないで原稿を直すことがあります。住所・氏名・年齢・連絡先を忘れずにお書きください。

◇送り先は 〒417 市内永田61-1
市役所広報広聴課
原稿締切日は、毎月20日です。

ラジオ体操で気分最高

細野勇治さん
中島(68歳)



私は、スポーツが大好きです。「健全なる精神は健全なる身体に宿る」余りにも言い古された言葉ですが、文明が進歩した現代でもその言葉の意味は重要です。

私は、昔から体操が大好きでNHKのテレビ体操を長年続けています。そのせいか、我が家の洋間も床のくぎが緩んだような気がします。子供たちが毎年行う夏休み中のラジオ

体操も都合のつく限り一緒にさせてもらっていますが、これなど最高の気分です。毎朝一緒に我が隣保班の子供たちの名前も全部覚え、実に楽しいものです。

また、ことしから高齢者健康体操が潤井川以西にも開かれ、想像以上の参加者を得ました。志を同じゅうする人たちとの触れ合いが楽しみです。願わくば、この輪がますます広がることを熱望します。

なぎなたでストレス解消

後藤綾子さん
厚原(53歳)

戦中戦後の混乱期に学生時代を過ごした私にとって、小学生のころ号令台の上で、縦横になぎなたを操る先生の姿は、あこがれの的であった。

あれから40年、今私は、はかまのすそを翻し、なぎなたを振り回している。それは幼いころ、あこがれた先生の雄姿にはほど遠いけれど、いでたちだけは一人前である。

運動不足になりがちな主婦にとって、精神統一をはかり「面」「脛」と大



(練習前に精神統一をする後藤さん)

声を出し手足を動かすことは、ストレス解消に大いに役立っている。

運動神経が鈍いからと、スポーツには一切無縁だった私が、なぎなたを始めてからは「やればできるんだ」との自信が持てるようになった。

これからは苦手とする分野でも、まず、挑戦してみよう。道はおのずから開けるものと信じ、一步ずつ進んでいきたいと願っている。



第18回富士市展の写真の部で市長賞を受賞。写真歴30年のベテラン。

たき 瀧 正さん

広見本町(52歳)

市長賞受賞作品は秋の夕日静浦海岸を飛んでいる海鷗をとらえた「入日」。写真をうまく撮るコツはの問いに、「いろいろな写真を数多く見ること。そして、これはと思う作品をまねしながら、徐々に自分のカラーを出していく、これが手っ取り早い上達方法です。」

カメラを持ったのは、三十二年ほど前、旧吉原市当時の成人学級(写真教室)に参加したのがきっかけとのこと。「今までいろいろな賞をいただきましたが、市長賞だけが取れませんでした。念願を果たせホッしました」と笑顔で答える。「今のカメラは、だれでも写せます。知識や理屈よりも気軽に身近なものを数多く撮るほうがよいでしょう」と初心者へのアドバイス。市文化連盟写真部に所属。「カメラマンの底辺をもっと広げたい」と抱負を語る。広見町在住で五十一歳。

第1回富士市
青少年の船

洋上研修と三宅島を見学

研修生代表と市長が体験学習などを



左から植田、和田、南條、後長、浅井さん、渡辺市長、渡辺、藤原、明石、秋山さん、広報広聴課長

「第1回 富士市青少年の船」は、渡辺市長を学長とする71名の研修生を乗せ、7月22日から2泊3日の洋上研修を行いました。

研修生は、船上での集団生活や観測実習、目的地三宅島での火山活動の見学等、貴重な体験をし、ひと回り大きくなって帰ってきたように思われます。

8月28日、参加者の中から8名の研修生に出席していただき、市長を囲んで体験談等を語っていただきました。

座談会の出席者名

学長 渡辺市長

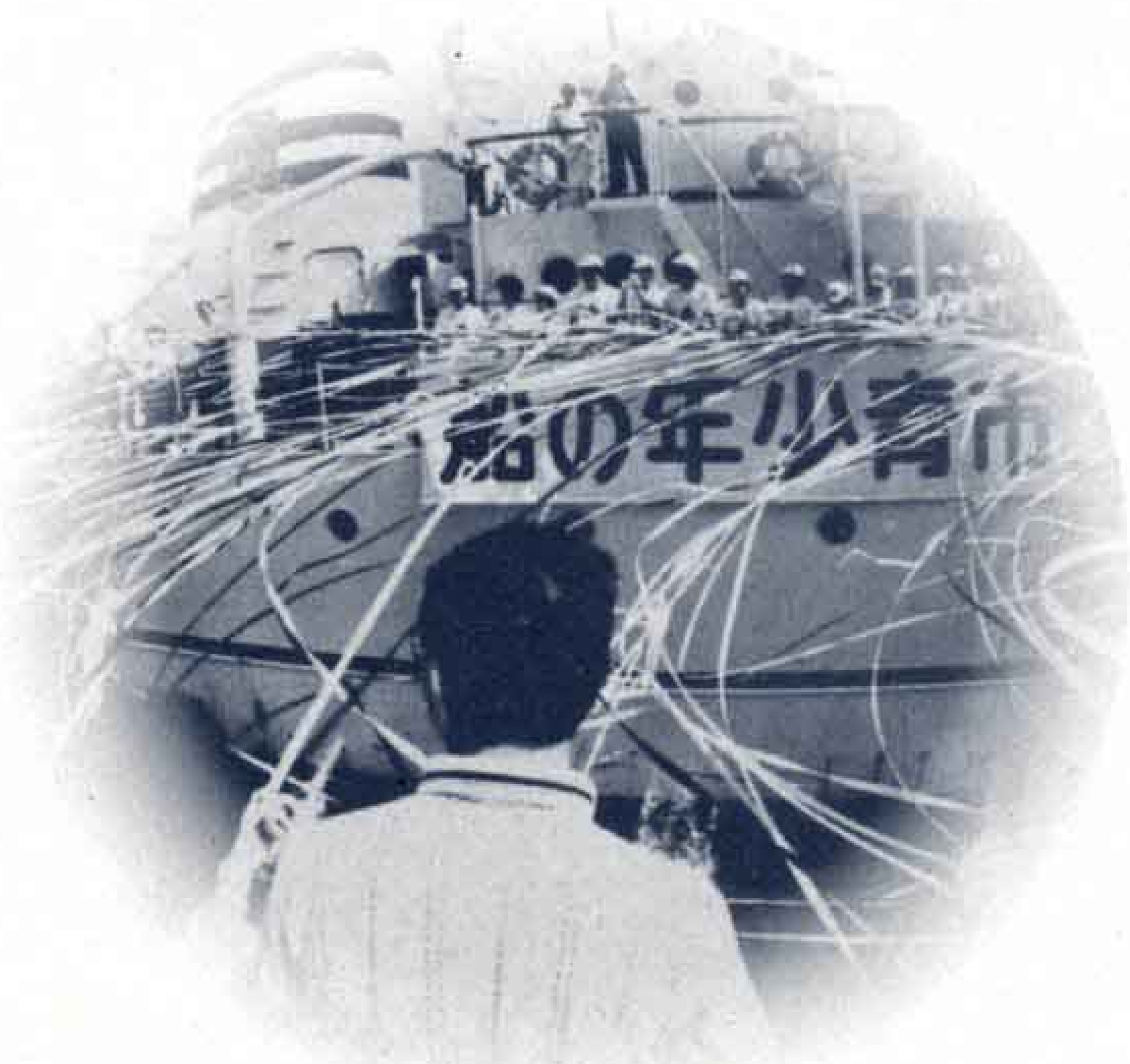
研修生

- | | | | |
|--------|-------|------|---------------|
| 和田直記さん | (19歳) | 上横割 | 静岡学園大学
予備校 |
| 渡辺哲史さん | (26歳) | 今宮 | 農業 |
| 藤原洋一さん | (24歳) | 吉原1 | ジャトコ |
| 後長友義さん | (17歳) | 厚原 | 富士高3年 |
| 明石妙子さん | (27歳) | 広見 | 吉原給食 |
| 南條利香さん | (17歳) | 富士中島 | 吉原高3年 |
| 浅井祥子さん | (17歳) | 中央町 | 富士東高3年 |
| 植田晴子さん | (24歳) | 松岡 | 日新火災
海上保険 |

青少年課 主事 秋山貴英さん

司会 広報広聴課長

三宅島へ向け田子の浦港を後に

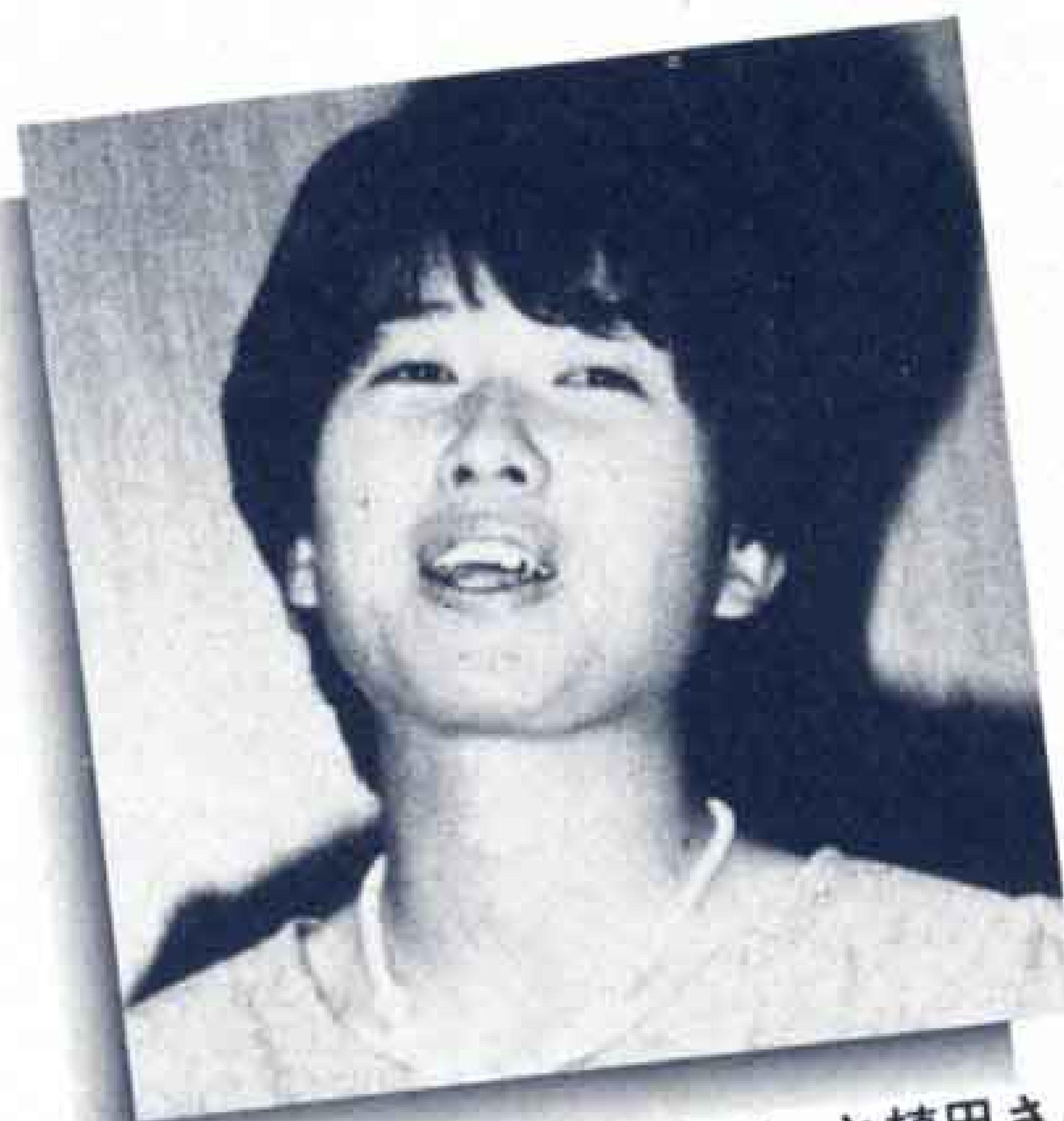




若者のバイタリティを感じた…と渡辺市長



青年団のほんの一部を見せたにすぎません…と渡辺さん



エメラルドの海を見たくて…と植田さん

夢とロマンを乗せて

司会 皆さん、お疲れのところご苦労さまです。まず、青少年の船に応募した動機からお聞きしたいと思います。

和田 私は現在、予備校に通っております。浪人という立場なので、皆さんとはちょっと違うかもしれません。毎日毎日が必然的に勉強に追われているわけです。そんな中で、募集要項を見たときに、他の人には経験できないものをこの船で体験しようと思いました。

植田 テーマにひかれました。青い海と空、それにエメラルドの海にあこがれてです。

渡辺 青年団に所属しているため、日ごろ市の関係の人達とは接触があるんですが、この船で市長さんや教育長さんとじかに接して話ができることを期待していました。それと、この機会にぜひお嫁さんを見つけたかった……。 (笑い)

司会 エメラルドの海という表現が出てきましたが、市長さんはどうでしたか。

市長 大海原に自分がいるんだ！という事で非常に精神的に休まりました。

洋々たる海の中で、空想的といおうか—そのような幻覚の中で自分として考えるものがありました。

それと、洋上から見る富士山の高さに驚きました。ここから見る富士山の倍くらいあるのでは……。

浅井 私も海にあこがれていたのです。それと机の上で学ぶよりも、実際に体で何かを体験したかったからです。

明石 応募要領によると対象者が高校生から27歳までなんです。私の場合は

ちょうど27歳なので、年齢制限がギリギリでした。

藤原 私としては、何でも見て体験してやろうという気持ちでした。

船酔いの人も……

司会 洋上での生活というと、何か、こうロマンが駆り立てられるという気もするんですが…。船内で楽しかったことまた、印象に残っていることはどんなことですか。

後長 船内が狭くて息苦しい感じでしたが、船上では大きな気持ちになりました。

トビウオが飛ぶのを見てすばらしいと思いました。

南條 船内での生活はその範囲が限られているので、大勢の人と接触できたことがよかったと思います。

生まれて初めて田子の浦港を外から見ました。

渡辺 研修生のまとめ役という大役を任命されたわけですが、船上生活の中でリーダーとして班長を点呼したことが一番の思い出となりました。



1日の始まりは朝日を受けて甲板でのラジオ体操から



初めて、田子の浦港を外から見ました…と南條さん



三宅島では泳げるんじゃないかと期待してました…と藤原さん



お姉さんの立場の明石さん



運営の裏話を披露する秋山さん

司会 船酔いはどうでしたか。

明石 もう少し船が揺れた方がよかったのでは……。お天気がよすぎて海が荒れなかったのが、チョッピリ残念な気持ちもあります。1日目の夜釣りがとても楽しかったです。

市長 観測実習はどうでしたか。特に汚泥を採るところなんかは……。

藤原 自分が知っていることについては興味を持ちますね。

明石 ただ残念なのは、実際に自分の手で実験を試してみたかったです。

浅井 2日目の晩にみんなと話し合う場ができたのですが、社会人の方の話を聞いていると、学生である自分の考えの

甘さに気づいたような気がします。

藤原 自分の班では、社会人のうち僕以外の4人はすべて青年団活動をやっている人たちなんです。考え方なんかとても参考になりました。

和田 話し合いをしている時に、中心となるのは青年団活動をしている人たちでした。もし、彼らがいなかったなら友好は深まらなかったのではないですか。

青年団員のバイタリティーが参考になりました。

藤原 私もそう思います。

植田 団体活動をやっている人って、若い割にはともしっかりした考えを持っていますね。

に説明してくれましたね。

和田 噴火のすごさを目のあたりに見て驚きました。21世紀に入ろうとする現代科学の力でも防ぐことができないんですね。

市長 そうです。いくら科学が発達しても自然の力を押さえることはできない。やはり、人間は自然と調和していかなければならないんですね。

藤原 僕が感じたのはちょっと違うんです。人間は、自然の力にはかなわないけれど、災害後はそれに立ち向かっていくというバイタリティーを持っている、ということを感じました。

市長 噴火で三宅島の人達が避難するとき、全員が船に乗るまで待っていたと聞きます。島の人達の連帯感には感心しました。もし、これが私たちの場合だったらどうだろうか、と考えると……。

噴火のすごさを見てビックリ

司会 皆さんは、噴火後の三宅島へ上陸したわけですが、その印象はどうでしたか。

後長 溶岩の状況を見て本当にすごいと思いました。自然の力の大きさに驚きました。

話しは違うんですが、私たちがリュックを背負って歩いているときに、泳いでいる人たちが見えたので、うらやましいなあー、なんて思ったりして……。

市長 三宅島ではみんな泳ごうと思っていたんじゃないの。反省会なんかにも出ていましたね。しかし、安全ということ考えると……。

秋山 そうなんです。水泳については企画の段階で、研修生の把握が無理なため実行しなかったんです。しかし、噴火後の遊歩道は予定外でしたが、思ったより勉強になったと思うんです。

明石 阿古中学校の校長先生の話が大変参考になりました。先生が「私の家はあの溶岩の中に埋まってしまったけれど、ここを離れる気持ちはない。」といわれたときには、何か胸がジーンとしました。

市長 校長先生、本当に親切



△今年の噴火でまちはこの溶岩の下に



子供会ジュニアリーダーの後長さん



社会人の方の話がとても参考になりました…と浅井さん



三宅島の印象を語る和田さん



船上での生活は…と広報広聴課長

県下初の試みとして

司会 この青少年の船に参加して得たものを、今後どのようにして生かしていきたいと思いませんか。

藤原 この船は、仲間づくりと次代を担うリーダーの育成というものがテーマとなっていました。リーダーというのはやさしさや、きびしさだけでなく、いろいろと人のことを考えてやれる人でなければ、と思います。自分としては、「いざ、という時に頼れる兄貴分のようにになりたいです。

渡辺 青年団の中堅クラスの人たちがこの船に参加しましたが、それはごく一部の人にすぎません。それは、私たちの行動のほんの一部を出したにすぎません。

大人たちは、21世紀を担うのは青少年だとよくいいますが、実際の問題として

どれだけ真剣に考えてくれるだろうか、と思います。

市長 現在は、いろいろな青少年団体ができています。その中には、非常に積極的にまちづくりを考えてくれている団体もあります。それらの多くの団体となるべく話し合う機会をつくっていくつもりです。そして、この課題は青年団にやってもらいたい、というものを提供したいと思います。

秋山 今回の船で、高校生と青年が一緒に乗ったというのは県内でも初めてなんです。その点、高校生の後長君なんかはどうですか。

後長 社会人の方たちと一緒に生活で

きたということが勉強になりました。

僕はジュニアリーダーをやっているわけですが、今まではFLCという市全体の組織があったけれど、今は各ブロックに分かれてしまっています。他地区の仲間との交流もほしいです。市としてもそのことを考えてほしいと思います。

南條 私と明石さんとは年齢がだいぶ違うわけです。(笑い)学生の私と比べるとやはりしっかりした考えを持っておりその点が大変参考になりました。

浅井 船から降りたあとも友達から手紙が来たり、電話で話をして交流を続けています。うちの学校の文化祭にも、ぜひ来てほしいと思います。

企画にぜひ青年の意見を

司会 来年も実施するようですが、参考となるご意見をお聞かせください。

渡辺 今回の場合は初めてということもありましたが、プログラム等においても一方的なものという感じを持ちました。

今回は、企画する段階でぜひ青年の考えを取り入れたものとしていただきたいです。

藤原 スケジュールの中で、行事がピッチリ詰まっていたため、多少だれてしまったという感じがしました。

秋山 はい、よくわかりました。

市長 今回の場合は、2泊3日ということでしたが、その点は……。

明石 私のような社会人の場合は、この位でよいと思います。

植田 乗船中、停泊時間が長いように思われました。目的地をもっと遠くにし

てもよいのでは。

和田 八丈島あたりでもよかったかもしれませんが、噴火のあった三宅島を見ることができて、大変勉強になりました。

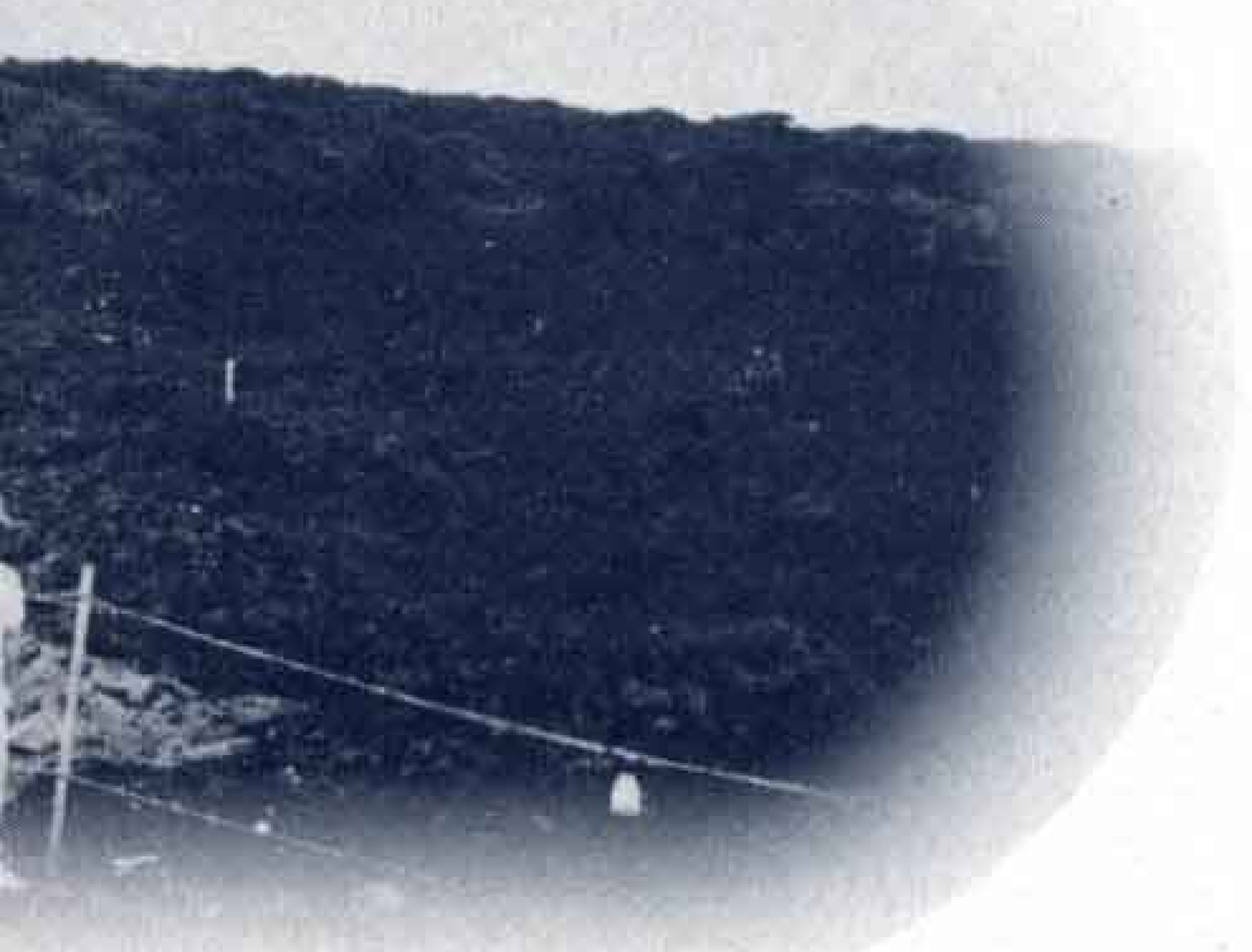
市長 来年の船にはみなさんからも参加するよう、ぜひすすめていただきたいですね。

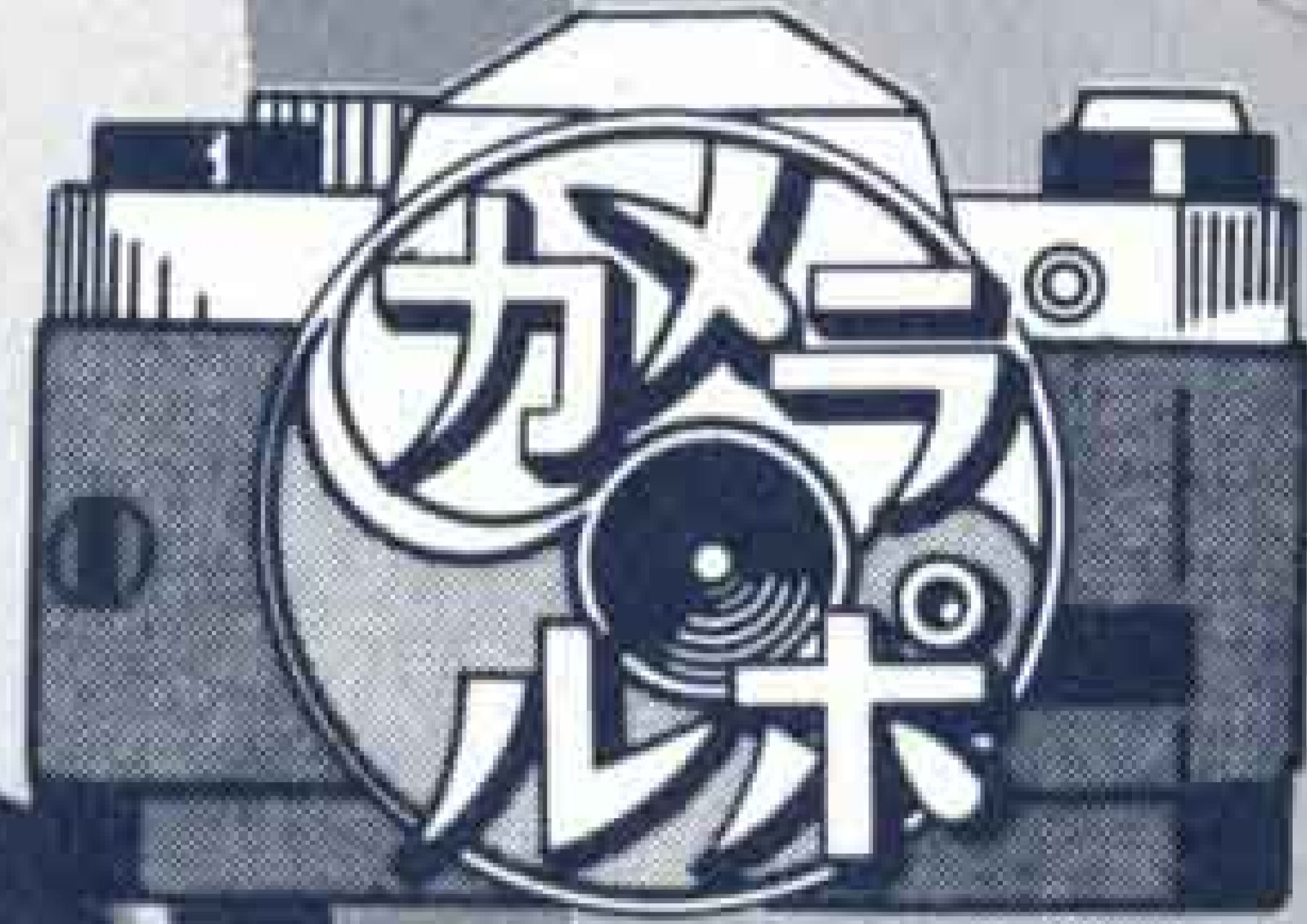
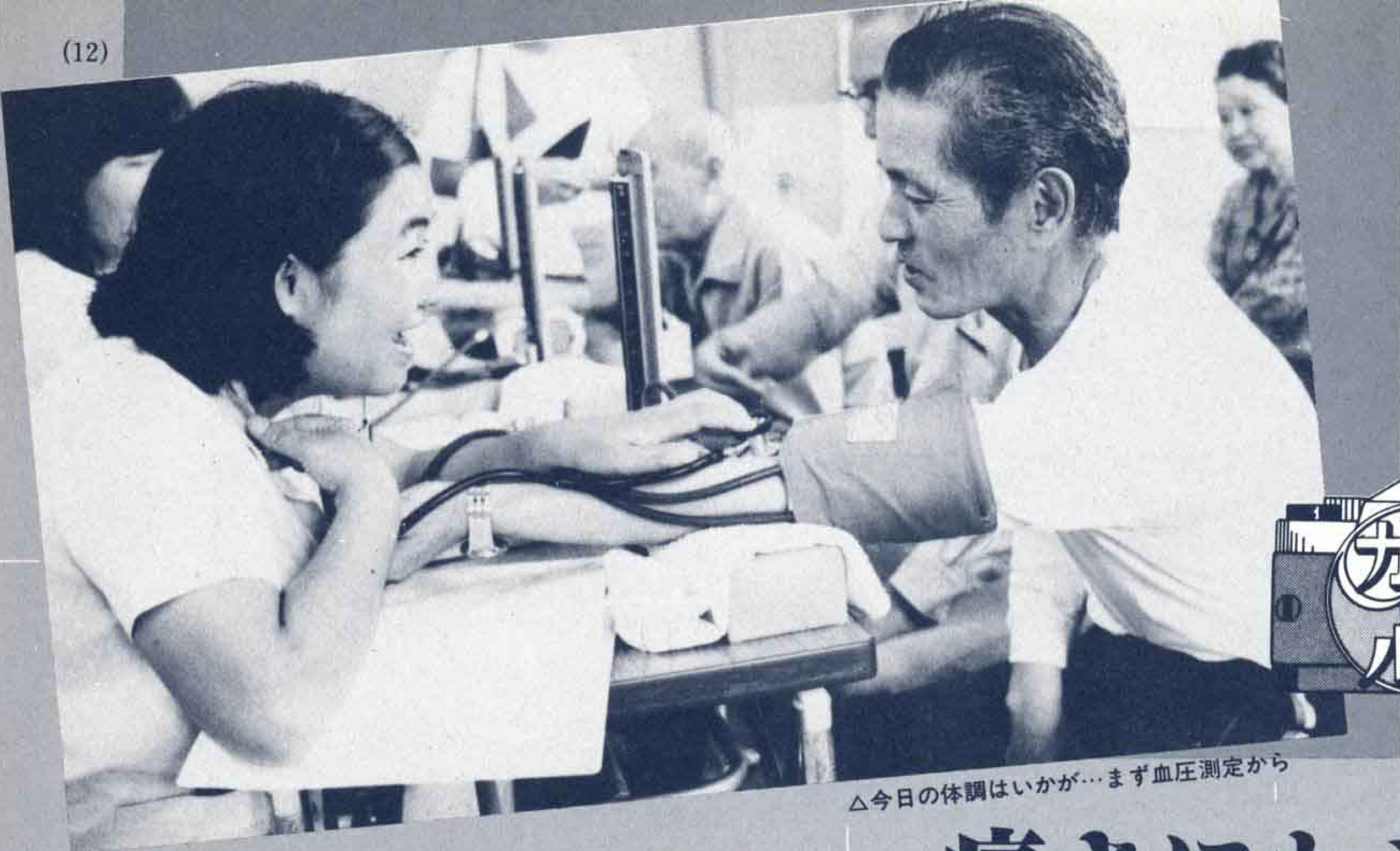
藤原 はい。私の妹や友達にも参加するように話します。

渡辺 この青少年の船が、最終的に何を求めていくのか、主催者側としてその目的をしっかりとつかんでおく必要があると思います。

司会 いろいろ貴重なご意見をありがとうございました。まだ話は尽きないようですが、そろそろ時間となりましたので終わらせていただきます。

きょうは、本当にご苦勞様でした。





△今日の体調はいかが…まず血圧測定から

痛さにもジッ

好評の機能

市は、今年度初めての試みとして機能回復訓練事業を実施しています。

これは、病気や事故などによって身体の一部が不自由となっている人が、この訓練を受けることによって、身体機能の低下防止と機能回復を図ろうというものです。

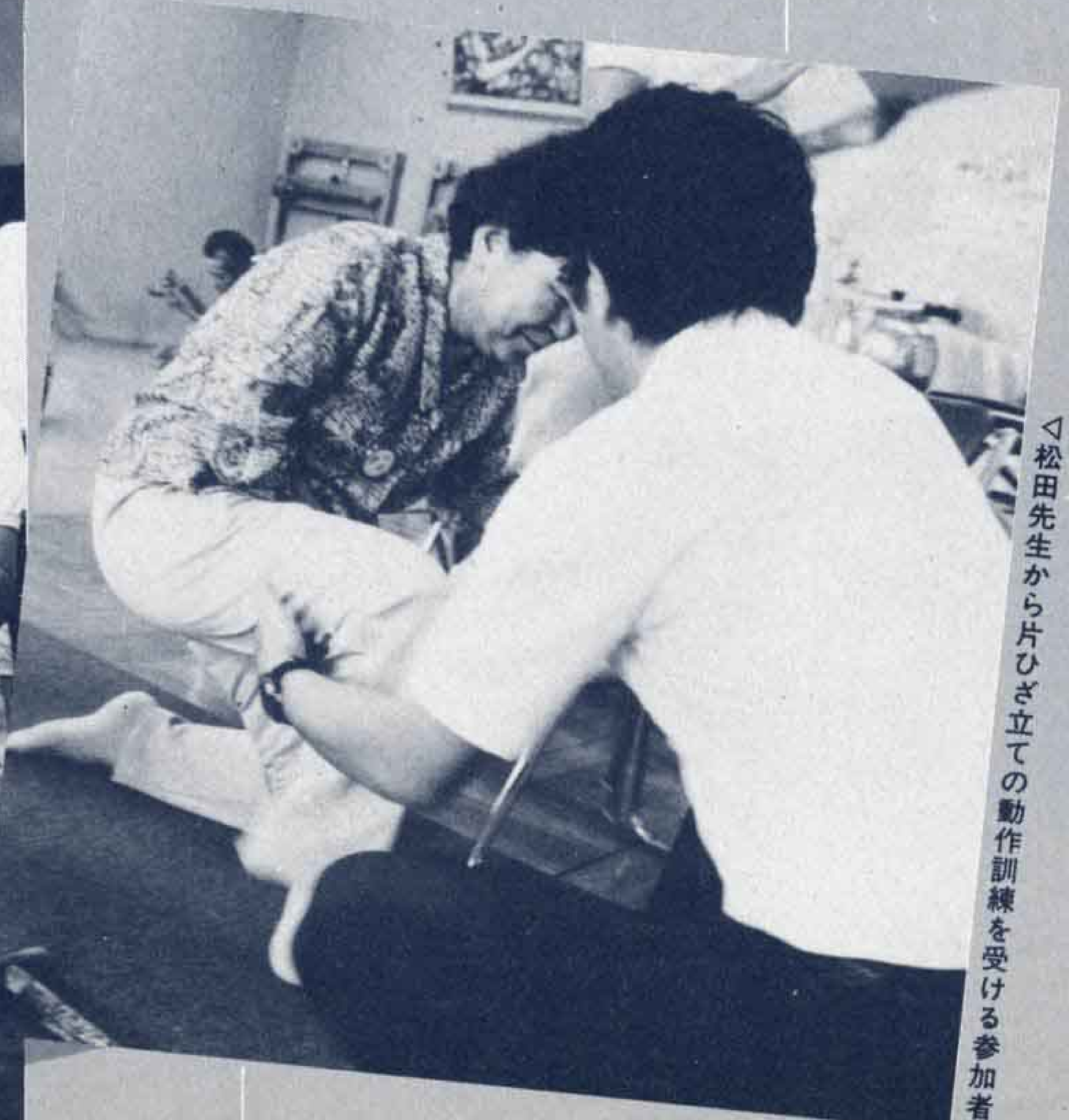
訓練は、社会福祉センターを会場に月2回



△訓練室には各種の器具を設置



▷固定自転車で足の訓練



△松田先生から片ひざ立ての動作訓練を受ける参加者

この輪をもっと広げよう…

後藤 孝さん (62歳) 大淵富士本中町

15～16年ほど前に脳内出血で倒れ、その後遺症で右半身がきかなくなり、その後、言語障害も起きてしまいました。

家ではなるべく自分の身体を使うように心がけてはいるんですが1人ではなかなか…。

ここの機能回復訓練へ来ると仲間もいるので、痛さも我慢してふだん使わないところを動かすようになります。

このような輪をもっと広げたいですね。



と耐えて

回復訓練

約半年間行われる予定です。

9月13日には、3回目の訓練が行われ参加者は、受け付けと血圧測定を済ませた後、準備体操、訓練と、中伊豆温泉病院の松田、池谷両先生の熱心な指導に、痛さもジッと我慢。機能回復のために歯をくいしばって頑張っていました。



△家庭では使うものすべてを手近に置きます

▽マッサージ器を使って指の訓練



▷池谷先生の合図で片足起立訓練





暮らしのたより



親子自然の集いに参加を

◇とき 10月13日(土)・14日(日)
10月27日(土)・28日(日)

(申し込みはどちらか1回です)

- ◇ところ 少年自然の家
- ◇集合時間 少年自然の家へ 15:30
- ◇対象者 市内在住の親子 20組
- ◇費用 1人 1,020円
- ◇持ちもの うわばき、洗面用具、タオル、石けん、パジャマ、運動のできる服装

◇申し込み方法

10月13日・14日希望の人は、10月9日まで、10月27日・28日希望の人は、10月23日までに少年自然の家に申し込みください。

☎35-1697

市立博物館 企画展

「浮島沼と米づくり」

市立博物館は、第9回企画展「浮島沼と米づくり」を開催します。

◇とき 10月17日(水)～12月9日(日)
◇ところ 市立博物館

小型ハカリの定期検査

県計量検定所と市商業労政課は、昭和59年度小型ハカリの定期検査を行います。商取引または、証明に使用している1,000g以下のハカリは受検してください。

期間中に受検しない場合は、静岡

県計量検定所(静岡市)で受検しなければなりません。

◇前回受検された人には受検票を送付します。

◇新規の人も近くの会場で受検できます

◇持ちもの はかり・受検票・検査手数料

◇問い合わせ先 市商業労政課 内線396

月日	検査会場	時間
10月16日(火)	富士市農協元吉原支所	10:30~15:00
" 17日(水)	須津公民館	10:00~15:00
" 18日(木)	吉永農業協同組合	"
" 19日(金)	富士見台公民館	"
" 22日(月)	富士市農協大淵支所	10:30~15:00
" 23日(火)	富士市農協今泉支所	10:00~15:00
" 24日(水)	伝法公民館	"
" 25日(木)	市立体育館	"
" 26日(金)	"	"
" 31日(水)	"	10:30~15:00

農用地利用計画

変更調書を受け付け

農業振興地域整備事業計画に基づき、農用地区域内の農用地利用計画変更調書の受け付けを11月1日から10日まで市農政課で行います。

該当する人は、忘れずに手続きをしてください。

該当するのは、農家住宅用地、農家の分家住宅用地、農業用施設用地分家住宅用地などで、調整区域開発許可基準に適合し、農用地区域の変

更がやむを得ないもの。

☆提出先 市農政課 内線404

※申請用紙は農政課にあります。

年金相談所を開設

市国保年金課は、国民年金・厚生年金などの年金について相談を受け付けます。お気軽にお出かけください。ふだん、仕事などの関係で相談に出向くことができない人も、この機会をぜひご利用ください。

◇とき 10月20日(土)・21日(日)
10:00~18:00

◇ところ パピー4階催事場

市民文化講演会

◇とき 11月8日(木) 18:30開演

◇ところ 吉原市民会館大ホール

◇テーマ 表現する心の大切さ

◇講師 米倉齊加年(俳優、演出家)

◇入場料 無料(ただし、入場整理券が必要です。整理券は、吉原市民会館、富士文化センター、各公民館、市文化体育課にあります。)

緑と花のまちづくり講演会

◇とき 10月27日(土) 13:30~

◇ところ 富士文化センター

◇テーマ 空想の庭園

◇講師 横浜国大助教授(フランス文学) 奥本大三郎

◇申し込み先 市みどりの課

☎51-0123 内線332・333

もう一度考えよう"モラル"を

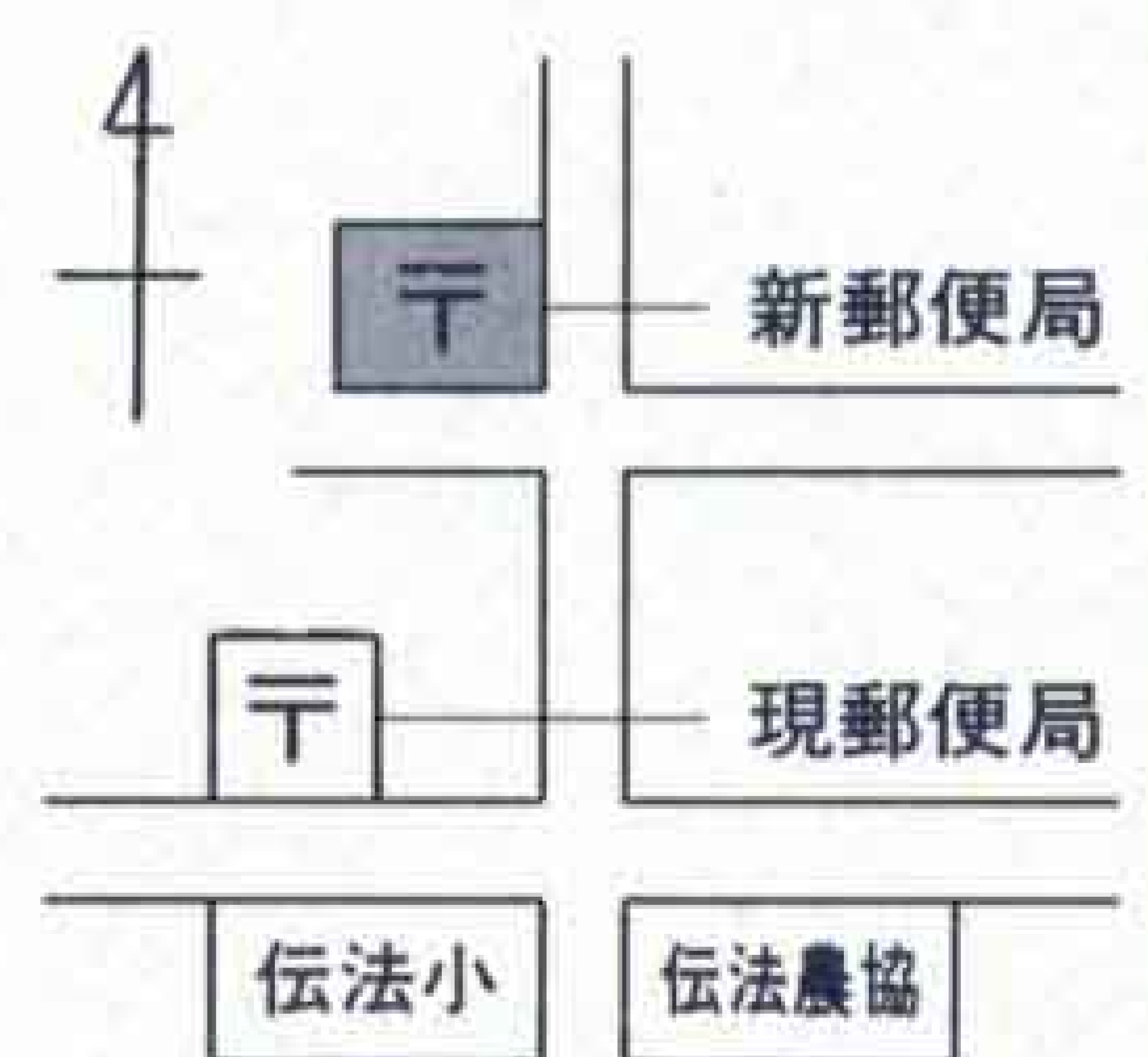
8月1日に開通したばかりのアーチ型をした潤井川大橋。

この橋に設置されているフラワーポットが、ごらんのよう無残な姿に。ほんのわずかな人のために、市民全体のモラルが疑われてしまいます。



富士伝法郵便局が移転

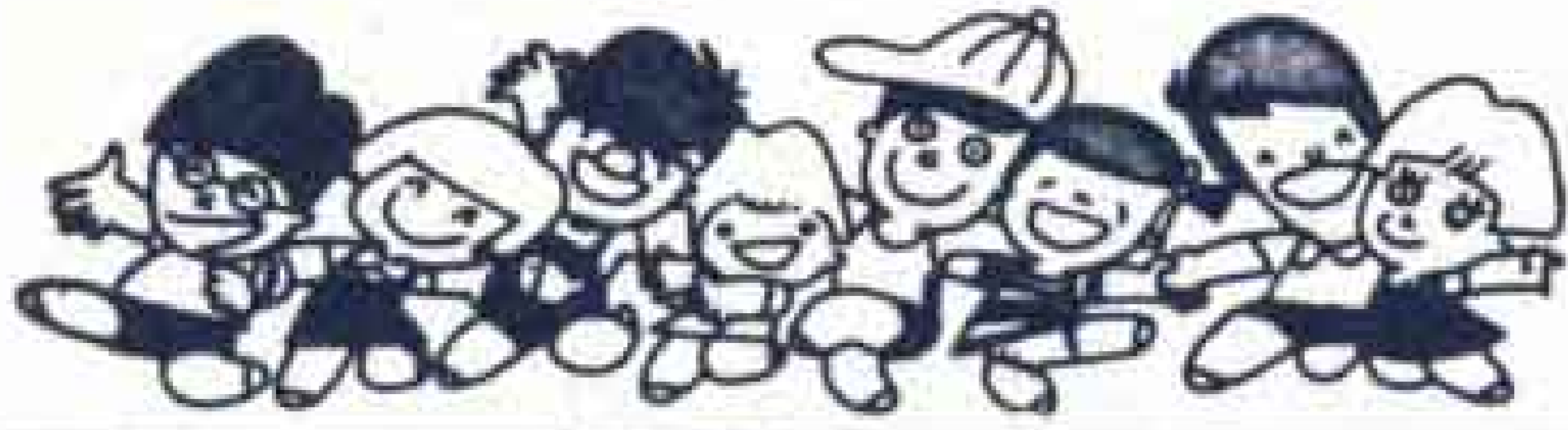
富士伝法郵便局が移転新築され、10月15日から新局舎に移ります。間違いのないようご注意ください。



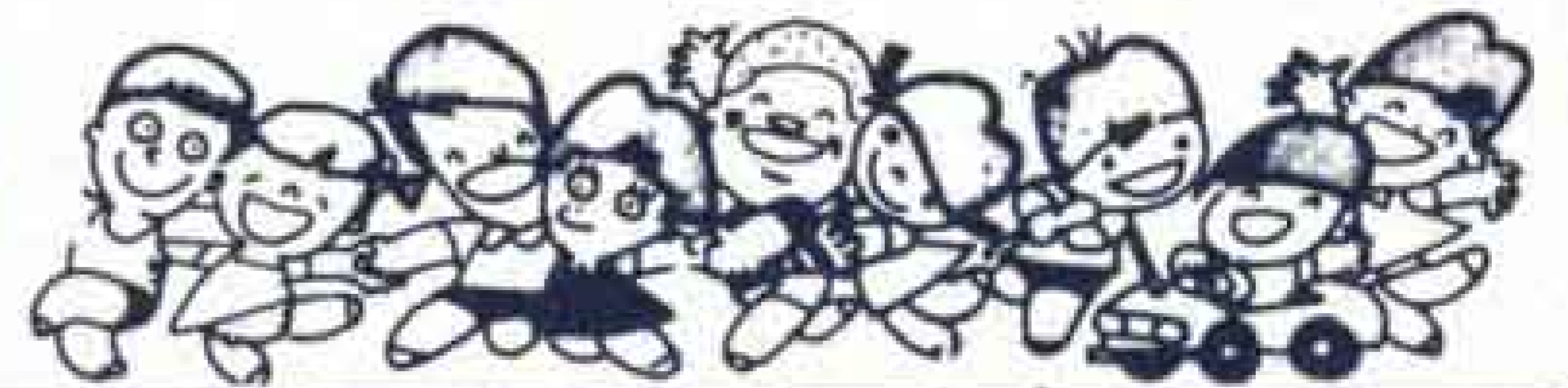
少年を取り巻く環境の浄化を!

全国防犯運動

10月11日~20日



暮らしのたより



違反建築防止週間

建築のルールを守って住みよいまちにすることをねらいとした、違反建築防止週間が10月11日から17日までの1週間行われます。

建築業者及び建築主は、次のことを十分に守ってください。

- ・建築にかかる前に確認申請を出して建築確認を受けましょう。
- ・建築中の建物は見やすい場所に確認表示板を掲示しましょう。
- ・増築でも建築確認の申請を出してください。
- ・問い合わせ先 市建築指導課
内線285

行政相談週間始まる

10月15日から20日までは「行政相談週間」です。

行政相談とは、行政に対する苦情、要望、問い合わせを受けて、その解決や実現をはかるものです。

静岡行政監察事務所 (☎0542-54-1100) または下記の行政相談員に直接申し出てください。

市河新平(吉原)☎52-3512、時田徳子(上横割)☎61-7319、田中稔(厚原)☎71-3594、風間ひとし(宮下)☎61-3336

チャリティーコンサートを開催

- ◇とき 10月20日(土) 17:00～
- ◇ところ 商工会議所 4階ホール
- ◇内容 チャリティーコンサート (ギター・マンドリン・ハーモニカの合奏、独奏)
- ◇主催 市文化連盟音楽協会富士支部
- ◇問い合わせ先 ☎35-0666(宮田)

富士文化センター自主事業

新日本フィルハーモニー 交響楽団公演

とき 10月26日(金) 18:30～
ところ 富士文化センター
入場料 3,000円(全席指定)

NEW YORK JAZZ BIG BAND

秋吉敏子 ルー・タバキン
とき 10月28日(日) 18:30～
ところ 富士文化センター
入場料 2,800円(全席指定)
☎61-6262

レントゲン間接撮影(追加分)

受けていない人は近くの会場で受診してください。

実施月日	実施会場	実施時間	該当地区
10月25日(木)	鷹岡公民館	10:00～12:00	鷹岡地区
	天間公民館	13:30～15:00	天間地区
26日(金)	丘公民館	10:00～11:30	丘地区
	勤労青少年寮前	13:30～15:00	広見地区
29日(月)	伝法公民館	10:00～11:30	伝法地区
	大淵公民館	13:00～15:00	大淵地区
30日(火)	市立中央図書館	10:00～12:00	今泉第1地区
	原田小学校	13:30～15:00	原田地区
31日(水)	市立体育館	10:00～15:00	吉原地区
11月1日(木)	吉永第二小学校	10:00～10:40	吉永第2地区
	神戸公民館	11:00～12:00	今泉第2地区
	富士見台公民館	13:30～15:00	富士見台地区

いっせい防疫

月日	午前	午後
10月8日(月)	鈴川町1 鈴川町2	鈴川町3
9日(火)	鈴川町4	鈴川町5
11日(木)	鈴川浜町東通 鈴川浜町中通 鈴川浜町西通	今井本町
12日(金)	今井毘沙門町 今井東町	大野町
13日(土)	田中町	
15日(月)	西田中町 桧町	柏原町2 柏原町3
16日(火)	柏原町1	浮島町2
17日(水)	浮島町3	江尾町1 江尾町2

10月の休日当直医

休日及び平日夜間の当直医は、急病患者のために定めたものです。

急病のときだけご利用ください。

◇10月7日

外科 川村病院 61-4050 中島
" 清河医院 21-6212 広見
産婦人科 鈴木医院 52-1712 今泉1
柔道整復 堀田接骨院 21-7505 広見

◇10月10日

外科 藤井整形 61-7811 松岡

外科 吉田外科 51-2515 石坂
産婦人科 窪田医院 61-3100 平垣
柔道整復 望月接骨院 61-3405 上横割

◇10月14日

外科 宮下医院 61-0376 平垣
" 米山病院 52-3060 吉原4
産婦人科 米山病院 52-3060 吉原4
柔道整復 藤原接骨院 21-3309 神戸

◇10月21日

外科 渡辺整形クリニック 61-0655 川成島
" 渡辺病院 51-3751 錦町
産婦人科 池田医院 21-2228 石坂

柔道整復 丸山接骨院 61-4720 森島

◇10月28日

外科 佐野整形 71-6200 天間
" 芦川病院 52-2480 中央町
産婦人科 望月医院 34-0445 西比奈
柔道整復 田辺接骨院 61-5490 柚木

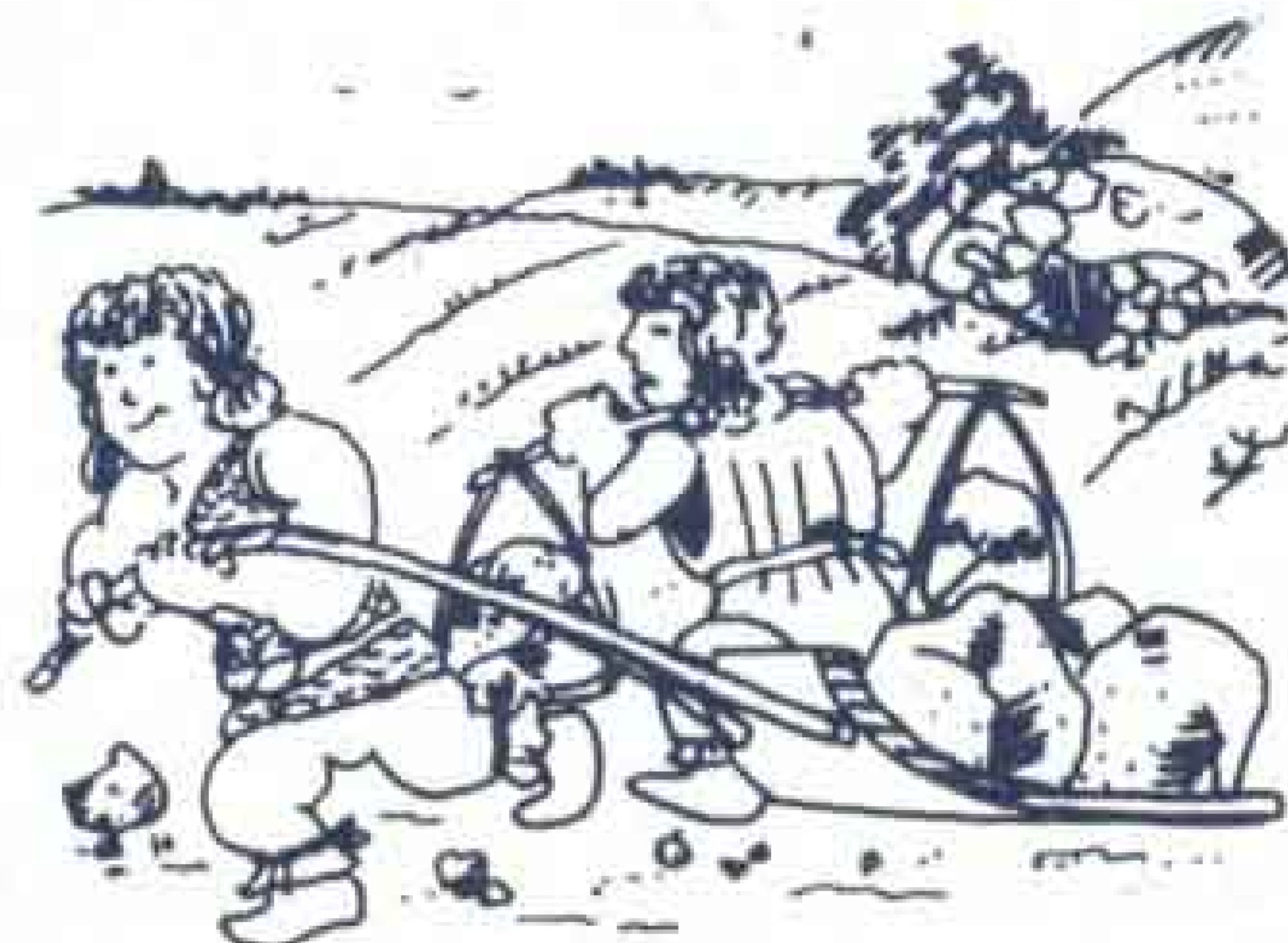
※内科・小児科は、医療センター☎52-3104で、歯科は、歯科医師会館☎53-5555で行います。

平日夜間及び休日当直医の問い合わせは
☎52-1181

ふるさとの昔話

古墳のはなし ⑨

古墳と祖先の生活



古墳の石

古墳をつくるには、たくさん
の石が使われます。

では、古墳の石はどこから、ど
のように運んだのでしょうか。

「横浜古墳」の場合は、東側に
流れていた伝法沢の石を中心に
使っていました。また「実円寺
西第1号古墳」は、近くに川が
なかったためか自然の溶岩が多
く見られます。

このことから、市内の古墳は、
それぞれ古墳の周辺にあった石
を石室に使ったようです。

古墳に使われている石の大部
分は、多少重いものの人間の力
で動く大きさです。したがって
それらの大部分はモッコのよう
なもので運んだようですが、中
に天井石や奥壁などに1トン以
上もある巨石があります。

このような石は「修羅」と呼
ばれる木製の板の上に乗せ、コ
ロや綱で運んだようです。

こちら編集室

食欲・スポーツそして読書の秋。
秋は、夏場の疲れをいやすと同時
に、冬場に向けて体力を養う季節。
我が編集室の面々も、ボリューム
たっぷりの昼食で体力をつけ、取材
に飛び回っています。



鈴川、砂山の坂の途中の左側に小さなお堂があります。この
お堂の中に、高さ50センチほどの石のお地藏さんがおさまってい
ます。このお地藏さんは、かつては人を化かしたり、あばれ地
蔵だという評判でしたが、その後、人の願いをよく聞いてくれ
るお地藏さんとして地域の人たちに親しまれています。

人を化かす地藏さん

昔々のある闇の晩。吉原へ着いた二人の船頭が、元吉原の宿場まで
行こうとしましたが、道が暗くて困
っていました。

すると前の方から紺がすりを着た
小僧がやってきて「こっち、こっち」
というので小僧のあとについて行き
ました。ところが小僧の姿はいつの
間にか消えて、二人は葦の生えてい
るドブの中をザブザブ歩いていまし
た。ようやく気がついてドブの中か
らはい出した二人は、「あの小僧め、
地藏が化けていたに違いない。畜生
め！」と悔しがりました。

こんな人を化かす話も伝えられて
いるお地藏さんですが、いつのころ
からか、このお地藏さんは、人の願

いをよく聞いてくれるお地藏さんだ
というので参詣する人が多くなった
ということです。

いいなり地藏さん



鈴木さん

砂山に住む鈴木
和嘉雄さん(83歳)
は、「この地藏さん
はね、人のいうこ
とをよく聞いてく
れるもんで『いい
なり地藏』と呼ん

でいるよ。毎月23日は地藏さんのお
祭りで、わしらが子供のころは露店
が出て、大層にぎわったね。今は店
はでないけど、お供え物を上げたり、
近所の年寄りが集まって世間話
に花を咲かせたりしているね」と語
ってくれました。

地名の由来

船津



船津とは、船の着く湊という意
味だから、昔この地に住んでいた
人々が、浮島沼を隔てた海辺の村
々と舟で行き来したことがうかが
えます。この村の山すそには縄文
時代の遺跡や多くの古墳がありま
すので、数千年も昔から人々が住
んでいたことは確かです。それは
山を背に、湖を前にした大変住み
よい土地だったからでしょう。